

2006年8月期業績 及び2007年8月期業績見通し

松下 正
株式会社ファーストリテイリング
取締役

1

取締役の松下です。

私からは、2006年8月期業績、及び
2007年8月期業績見通しについてご説明をします。

【連結】 2006年8月期 PL 増収増益

売上高： 4,488億円 (前期比+16.9%)
 経常利益： 731億円 (前期比+24.8%)

単位：億円

	2005年8月期		2006年8月期		
	実績	直近予想 (4/13修正)	実績	前期比	予想比
売上高 (売上比)	3,839 100.0%	4,449 100.0%	4,488 100.0%	+ 16.9%	+ 0.9%
売上総利益 (売上比)	1,702 44.3%	2,087 46.9%	2,124 47.3%	+ 24.7% + 3.0p	+ 1.8%
販管費 (売上比)	1,135 29.6%	1,383 31.1%	1,420 31.7%	+ 25.1% + 2.1p	+ 2.7%
営業利益 (売上比)	566 14.7%	702 15.8%	703 15.7%	+ 24.1% + 1.0p	+ 0.1%
経常利益 (売上比)	586 15.2%	723 16.3%	731 16.3%	+ 24.8% + 1.1p	+ 1.1%
当期純利益 (売上比)	338 8.8%	400 9.0%	404 9.0%	+ 19.3% + 0.2p	+ 1.0%

2

まず、2006年8月期の連結業績についてご説明します。

通期では売上高は4,488億円、前期比16.9%増、
 営業利益は703億円、前期比24.1%増、
 経常利益は731億円、前期比24.8%増の
 増収増益を達成することができました。

次のスライドでその要因をご説明します。

【連結】 増収増益の要因

売上高 4,488億円 (前期比 + 16.9%)

国内ユニクロ事業 おもに新規出店による売上増 + 283億円

連結子会社増加 ワンゾーン+92億円、ネルソン フィナンス+145億円
プティ ヴィクル+54億円

売上高総利益率 47.3% (前期比 + 3.0p)

国内ユニクロ事業の売上高総利益率の改善

ネルソン フィナンス・プティ ヴィクルの新規連結

売上高販管費率 31.7% (前期比 + 2.1p)

連結子会社増加 + 178億円 国内ユニクロ事業 + 83億円

連結調整勘定償却(のれん代償却) + 10億円

経常利益率 16.3% (前期比 + 1.1p)

3

まず売上高は4,488億円と、648億円の増収となりました。

増収のおもな要因は、国内ユニクロ事業が283億円、
今期から通年で連結を開始したワンゾーンが92億円、
「コントワー・デ・コトニエ」のネルソン フィナンスが145億円、
第3四半期から連結対象となったプティ ヴィクルが54億円です。

売上高総利益率は47.3%と前期比で3.0ポイント改善いたしました。
これは、主に国内ユニクロ事業の売上高総利益率が改善したこと、
利益率の高いネルソン フィナンスとプティ ヴィクルが
連結に加わったことによるものです。

販管費は、前期比で284億円増えております。
連結対象会社が増えたことによるものが178億円、
国内ユニクロの店舗増などによる経費増が83億円となっています。また、ネルソ
ン フィナンスの株式追加取得、プティ ヴィクル、
キャビンの子会社化などM&Aの実施により、
2006年8月期に10億円ののれん代を償却しました。

これらの結果、経常利益は前期比で145億円増となり、
経常利益率も16.3%と、前期比で1.1ポイント改善いたしました

増収増益

業績予想を上回る営業利益を達成

単位：億円

	2005年8月期 実績 (旧FR単体)	2006年8月期 直近予想 (4/13修正)	2006年8月期 (社内管理数値)		
			実績	前期比	予想比
売上高 (売上比)	3,653 100.0%	3,922 100.0%	3,936 100.0%	+ 7.7%	+ 0.3%
売上総利益 (売上比)	1,625 44.5%	1,815 46.3%	1,829 46.5%	+ 12.5% + 2.0p	+ 0.7%
販管費 (売上比)	1,054 28.9%	1,132 28.9%	1,137 28.9%	+ 7.9% + 0.0p	+ 0.4%
営業利益 (売上比)	571 15.6%	682 17.4%	692 17.6%	+ 21.1% + 1.9p	+ 1.3%

社内管理数値は、旧㈱ファーストリテイリング単体の2ヶ月間の実績(2005年9月1日～2005年10月31日)と、持株会社である㈱ファーストリテイリングと㈱ユニクロの10ヶ月間の実績(2005年11月1日～2006年8月31日)を合算したもから、㈱ファーストリテイリングの商業施設事業の収入および経費を除いたものです。旧㈱ファーストリテイリング単体と比較対照するためのご参考数値です。

4

次に、国内ユニクロ事業について、ご説明いたします。

2005年11月1日より持株会社体制に移行しておりますため、国内ユニクロ事業につきましては社内管理数値を表示しております。

国内ユニクロ事業の売上高は3,936億円、前期比7.7%増、営業利益は692億円、前期比21.1%増の増収増益となり、業績予想を上回る営業利益を達成しました。

【国内ユニクロ】 売上高の状況

売上高 3,936億円 (前期比 +7.7%)

ユニクロ直営店 前年同期比39店舗増 (8月末703店舗)

既存店売上高 前期比 +0.7% (05/8期実績 +0.6%)

客数 前期比 2.3% 秋冬商戦は10月、春夏商戦は4~6月に天候不順の影響

客単価 前期比 +3.1% 一品単価の上昇、値引幅の縮小

前年比増減率		2006年8月期		
		上期	下期	通期
既存店計	売上高	+0.5%	+0.9%	+0.7%
	客数	1.4%	3.3%	2.3%
	客単価	+2.0%	+4.3%	+3.1%

FC店 17店舗を除く

5

国内ユニクロ事業は、通期で7.7%の増収となりましたが、この主な要因は、店舗数が前期比で39店舗増加したことと、既存店売上高が前期比で0.7%増加したことです。

既存店売上高は、客数がマイナス2.3%、客単価がプラス3.1%となっております。客数の減少は、上期は10月、下期は4月から6月にかけての天候不順による影響が大きいと考えております。

客単価は前期比で3.1%上昇しておりますが、この理由としては一品単価が上昇する傾向が続いていることがあげられます。

売上高総利益率 46.5% (前期比 + 2.0p)

	2005年8月期	2006年8月期	前期比
通期	44.5%	46.5%	+ 2.0p
上期	44.5%	46.5%	+ 2.0p
下期	44.5%	46.4%	+ 1.9p

通期の売上高総利益率は前期比で2.0ポイント改善しました。

主な要因としては、秋冬シーズン、春夏シーズン共に、前期にくらべて、在庫処分による値引きが減少したことがあげられます。

【国内ユニクロ】 販管費

売上高販管費率 28.9% (前期比+0.0p)

広告宣伝費率 0.5ポイント: 対売上高比率で削減

賃借料率 +0.1ポイント: 都心ビルイン型、ショッピングセンターへの
出店に伴う賃借料率増

人件費率 +0.1ポイント: 採用の拡大による求人費・人件費増など

	2005年8月期		2006年8月期		増減額	
	旧FR単体	(売上比)	社内管理数値	(売上比)		(売上比)
販売管理費	1,054	28.9%	1,137	28.9%	+83	+0.0p
内 人件費	395	10.9%	430	10.9%	+34	+0.1p
内 広告宣伝費	193	5.3%	189	4.8%	4	0.5p
内 賃借料	252	6.9%	277	7.1%	+25	+0.1p
内 減価償却費	18	0.5%	22	0.6%	+3	+0.1p
内 その他	192	5.3%	217	5.5%	+24	+0.3p

7

国内ユニクロの販管費は、前期比で約83億円増加しておりますが、対売上高比率では前期と同水準であり、ほぼ計画どおりとなりました。

売上高販管費比率のうち、人件費は採用の拡大による求人費・人件費増により0.1ポイント悪化、賃借料率は、都心ビルイン型、ショッピングセンターなどの店舗が増えたことにより0.1ポイント悪化いたしましたが、広告宣伝費比率については、効率的な販促の実施により、0.5ポイント改善させることができました。

単位：億円

連結対象期間	連結		ワンゾーン		FRフランス ¹ (仏国)		コントワー・デ・コトニエ ジャパン	
	売上高	売上比	売上高	売上比	売上高	売上比	売上高	売上比
05/9～06/8	4,488	100.0%	214.8	100.0%	226.4	100.0%	2.1	100.0%
売上高	4,488	100.0%	214.8	100.0%	226.4	100.0%	2.1	100.0%
営業損益	703	15.7%	7.6	-	50.4	22.3%	3.9	-
経常損益	731	16.3%	6.8	-	46.1	20.4%	3.9	-
特別損益	4	-	7.3	3.4%	0.4	-	0.0	0.0%
当期純損益	404	9.0%	0.5	-	28.8	12.7%	3.9	-

連結対象期間	アスバジ・ジャパン		リンク・セオリ・HD		キャビン	
	売上高	売上比	売上高	売上比	売上高	売上比
05/9～06/8	7.7	100.0%	持分法適用関連会社		持分法適用関連会社	
05/9～06/8	7.7	100.0%	持分法適用関連会社		持分法適用関連会社	
売上高	7.7	100.0%	持分法適用関連会社		持分法適用関連会社	
営業損益	1.0	-	持分法適用関連会社		持分法適用関連会社	
経常損益	1.0	-	3.1	-	0.4	2
特別損益	0.2	-	持分法適用関連会社		持分法適用関連会社	
当期純損益	1.3	-	持分法適用関連会社		持分法適用関連会社	

- 1 フランス事業の持株会社 FRフランスの数値には、ネルソン フィナンス、プティ ヴィクル等が含まれています。
- 2 営業外費用として、(株)キャビンの「持分法による投資損失(06/6～06/8)」 0.4億円を計上しております。
〔内訳〕(株)キャビン期間損益相当 0.2億円、(株)キャビン株式取得に伴う投資差額 0.6億円
- 3 連結調整勘定にて、ネルソン フィナンス株式追加取得に伴う連結調整勘定償却 5.7億円を、
プティ ヴィクル株式取得に伴う連結調整勘定償却 3.8億円を計上しています。

8

次に、主な連結対象会社の業績についてコメントいたします。

まずワンゾーンですが、売上高が計画未達であったことに加えて、春物の在庫処分により売上高総利益率も計画を下回ったことから、営業損失は累計で7.6億円となりました。商品や売場の改革をおこなったものの、まだ十分な成果をあげることができていません。

次にFRフランス事業ですが、ネルソン フィナンスの業績は、売上高が171億円、営業利益が48億円ときわめて好調でした。また、プティ ヴィクルの業績も好調で、下期6ヶ月間で売上高54億円、営業利益8億円を計上しております。

コントワー・デ・コトニエ・ジャパンは、まだ日本市場での知名度が低いため売上については予算未達となり、9月に青山にオープンしました旗艦店の開業費も発生したため、3.9億円の営業損失を計上しております。

なお、持分法適用関連会社である、リンク・セオリ・ホールディングスの「持分法による投資利益」は3.1億円となりました。

単位：億円

	UNIQLO (U.K.)		FRJS		UNIQLO USA		FRL Korea		UNIQLO H.K.	
	[英国]	売上比	[中国]	売上比	[米国]	売上比	[韓国]	売上比	[香港]	売上比
連結対象期間	05/9 ~ 06/8		05/7 ~ 06/6		05/9 ~ 06/8		05/9 ~ 06/8		05/9 ~ 06/8	
売上高	27.0	100.0%	15.3	100.0%	7.9	100.0%	24.9	100.0%	11.9	100.0%
営業損益	1.9	-	0.1	-	13.5	-	1.4	-	2.2	18.4%
経常損益	1.9	-	0.2	-	13.5	-	1.3	-	2.2	19.1%
特別損益	0.7	2.6%	0.6	-	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
当期純損益	1.2	-	0.9	-	13.5	-	1.3	-	1.9	16.2%

9

続きまして、海外のユニクロ事業の業績についてご説明いたします。

英国事業の売上高は計画を上回り、前期比でも約4割の増収となりました。しかし現地での採用を拡大し、店舗のリニューアルをすすめたため、1.9億円の営業損失となっております。

中国事業は上海の店舗は好調に推移しておりましたが、北京の2店舗の閉鎖コストもあり、0.1億円の営業損失となりました。

米国事業は、売上高7.9億円に対して13.5億円の営業損失となりました。売上高が計画未達であったことに加え、11月にオープンするSOHO旗艦店のプロモーション活動を拡大したことによるものです。

韓国事業は、上期はカシミアとフリースのヒットやオープン景気もあり、計画を上回りましたが、下期は地方の新店が計画未達であったことにより、若干の赤字となっております。

香港事業は好調な売上を維持しており、売上高、利益ともに計画を上回りました。

【連結】 2006年8月末 BS

単位: 億円

	2005年8月末	2006年8月末	増 減
総資産	2,728	3,796	+1,068
流動資産	1,800	2,503	+702
固定資産	927	1,293	+365
負債	853	1,391	+538
純資産	1,874	2,404	+529

2005年8月末の純資産には、資本勘定1,823億円と少数株主持分勘定51億円の合計値を記載しております。

10

次に連結のバランスシートのご説明をさせていただきます。

2005年8月末との比較では、
流動資産が702億円、固定資産が365億円増えたことから、
全体の総資産は3,796億円と1,068億円の増加となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

【連結】BSのポイント (2005年8月末比較)

現金・預金および有価証券 +261億円 (1,210億円 1,471億円)

- 国内ユニクロの営業キャッシュ・フローの増加、キャビンのBS連結 +130億円

有形固定資産の増加 +112億円 (186億円 298億円)

- 【キャビン】新規連結 +52億円 【国内ユニクロ】店舗増 +13億円

たな卸資産の増加 +92億円 (335億円 428億円)

- 【国内ユニクロ】 +22億円 【海外ユニクロ】新規連結 +12億円

- 【プティ ヴィクル】新規連結 +25億円

無形固定資産の増加 +240億円 (171億円 412億円)

- ネルソン フィナンス、プティ ヴィクル株式取得による営業権 +188億円

- キャビンの株式取得による営業権 +31億円

有利子負債の増加 +165億円 (61億円 227億円)

- ネルソン フィナンス、プティ ヴィクル株式取得のための長期借入金 +125億円

11

まず、現預金及び有価証券の合計額は、8月末比で261億円増加しております。おもな要因は国内ユニクロの営業キャッシュ・フローの増加ですが、キャビンのバランスシートの連結により130億円が増加しています。

次に、有形固定資産は、112億円増加しました。キャビンの新規連結によるものが52億円、国内ユニクロの店舗数増加によるものが13億円です。

たな卸資産は、前期末比では92億円増加しております。国内ユニクロが22億円増加しているほか、プティ ヴィクル、キャビン、米国・韓国・香港などの新規連結対象会社の増加、ワンゾーンの在庫増加によるものです。

無形固定資産は、前期末比で240億円増加しておりますが、このうち220億円はネルソン フィナンス、プティ ヴィクル、キャビンの株式取得にともなう営業権の増加です。

最後に、有利子負債が165億円増加しております。これはネルソン フィナンス、プティ ヴィクルの買収のためのユーロ建て長期借入金によるものです。

【連結】 2007年8月期 業績予想

単位：億円

	2006年8月期	2007年8月期	
	実績	予想	前期比
売上高 (売上比)	4,488 100.0%	5,355 100.0%	+ 19.3%
売上総利益 (売上比)	2,124 47.3%	2,610 48.7%	+ 22.9% (+ 1.4p)
販管費 (売上比)	1,420 31.7%	1,806 33.7%	+ 27.1% (+ 2.1p)
営業利益 (売上比)	703 15.7%	804 15.0%	+ 14.3% (0.7p)
経常利益 (売上比)	731 16.3%	805 15.0%	+ 10.1% (1.3p)
特別損益 (売上比)	3 0.1%	10 0.2%	- (-)
当期純利益 (売上比)	404 9.0%	445 8.3%	+ 10.0% (0.7p)

12

ここからは、2007年8月期業績予想についてご説明します。
 連結の通期業績については、売上高5,355億円、前期比19.3%増、
 経常利益は805億円、前期比10.1%増、
 当期純利益は445億円、前期比10.0%増を予想しております。

株式会社ユニクロ 業績予想^(注)

単位：億円

	2006年8月通期	2007年8月通期	
	実績	予想	前期比
売上高 (売上比)	3,936 100.0%	4,302 100.0%	+ 9.3%
売上総利益 (売上比)	1,829 46.5%	2,035 47.3%	+ 11.2% (+ 0.8p)
販管費 (売上比)	1,140 29.0%	1,270 29.5%	+ 11.4% (+ 0.5p)
営業利益 (売上比)	688 17.5%	764 17.8%	+ 11.0% (+ 0.3p)
経常利益 (売上比)	698 17.7%	761 17.7%	+ 9.1% (-)

(注) 国内ユニクロ事業の業績数値については、2007年8月期より、(株)ユニクロの業績数値を開示いたします。この数値と比較対応させるため、2006年8月期の実績値は、2005年9月から2005年10月の2ヶ月間の旧(株)ファーストリテイリング単体ベースの実績に、2005年11月以降の(株)ユニクロの実績を加算した数値となっております。スライド4～7番にて説明した数値と一部相違しておりますので、ご了承ください。

(株)ユニクロ業績の詳細は、当社2006年8月期決算説明資料(FACTBOOK)において、国内ユニクロ事業の実績値として掲載しておりますので、ご参照ください。

13

国内ユニクロの通期の業績予想については、2007年8月期からは、株式会社ユニクロの業績を開示していきます。

なお、こちらに掲載している2006年8月期の通期実績の数字は、先ほどの旧ファーストリテイリング単体ベースの国内ユニクロの実績数値とは異なっております。

株式会社ユニクロの2007年8月期売上高は4,302億円、前期比9.3%増、営業利益は764億円、前期比11.0%増を予想しています。



【国内ユニクロ】2007年8月期予想
株式会社ユニクロ 業績予想の前提

	2006年8月期 実績			2007年8月期 予想			前期比		
	売上高	3,936 億円			4,302 億円			+ 9.3%	
既存店伸び率	+ 0.7%			+ 1.4%			+ 0.7p		
売上高総利益率	46.5%			47.3%			+ 0.8p		
通期	46.5%			47.0%			+ 0.5p		
上期	46.4%			47.6%			+ 1.2p		
下期									
出退店数(直営店)	出店	退店	純増	出店	退店	純増	出店	退店	純増
通期	84	45	+39	79	41	+38	5	4	1
(店舗)									
大型店	4	0	+4	20	0	+20	+16	0	+16
標準店等	71	45	+26	54	41	+13	17	4	13
専門店	9	0	+9	5	0	+5	4	+0	4
上期	44	26	+18	37	21	+16	7	5	2
大型店	4	0	+4	10	0	+10	+6	0	+6
標準店等	35	26	+9	27	21	+6	8	5	3
専門店	5	0	+5	0	0	+0	5	0	5
下期	40	19	+21	42	20	+22	+2	+1	+1
大型店	0	0	+0	10	0	+10	+10	0	+10
標準店等	36	19	+17	27	20	+7	9	+1	10
専門店	4	0	+4	5	0	+5	+1	0	+1

ユニクロ直営店出店数のうち、標準店等にエキナカ・エキチカのユニクロ小型店も含まれます。
 また専門店には、ウィメンズインナー専門店「BODY by UNIQLO」、キッズ専門店「ユニクロ キッズ」を含みます。

14

2007年8月期の既存店売上高は、前期比+1.4%増を予想しております。

売上高総利益率については、47.3%と、
 前期比0.8ポイントの改善を予想しております。

2007年8月出店・退店数は、通期で出店は79、退店41、純増38店舗を予定しております。

この純増の内訳は、大型店20、標準店などで13、
 BODY by UNIQLO、ユニクロ キッズなど専門店が5店舗と
 なっております。

単位: 億円

	ジーユー		ワンゾーン		FRフランス ¹	
		売上比		売上比	[仏国]	売上比
連結対象期間	06/9 ~ 07/8		06/9 ~ 07/8		06/9 ~ 07/8	
売上高	96.0	100.0%	225.0	100.0%	329.5	100.0%
営業損益	2.0	-	1.3	0.6%	52.3	15.9%
経常損益	2.2	-	1.0	0.4%	43.8	13.3%

	キャビン		アスバジ・ジャパン		リンク・セオリ・HD	
		売上比		売上比	売上比	
連結対象期間	06/9 ~ 07/8		06/9 ~ 07/8		06/9 ~ 07/8	
売上高	226.7	100.0%	11.2	100.0%	持分法適用関連会社	
営業損益	9.1	4.0%	0.5	-	-	
経常損益	9.5	4.2%	0.6	-	5.5	2

- 1 フランス事業の持株会社 FRフランスの数値には、ネルソン フィナンス、プティ ヴィクル、コントワー・デ・コトニエ ジャパン等が含まれています。
- 2 営業外収益として、リンク・セオリ・ホールディングスの「持分法による投資利益(06/9 ~ 07/8)」5.5億円の計上を予想しています。
- 3 連結調整勘定償却(のれん代償却)については、連結販管費として、2007年8月通期で総額35億円の計上を予想しています。

15

次に、主な連結対象会社の2007年8月期の予想についてご説明します。

明日1号店がオープンしますジーユーは

売上高96億円、営業損失2億円を予想しております。

ワンゾーンは、

売上高225億円、営業利益は1.3億円の黒字化を予想しております。

コントワー・デ・コトニエ事業とプリンセス タム・タム事業を傘下にもつ、

FRフランスの業績予想は329億円、営業利益52億円を予想しております。

コントワー・デ・コトニエ事業は売上高約210億円、利益につきましては、

赤字のCDCジャパンを連結しましたので、ほぼ前期比横ばいの見通しです。プリンセス タム・タム事業の売上高は約118億円、営業利益は10%程度の増益を見込んでおります。

キャビンは、

ファーストリテイリングの連結決算期にあわせた数値となっています。

売上高226億円、営業利益9億円を予想しています。

単位：億円

	UNIQLO(U.K.)		FRJS		UNIQLO USA		FRL Korea		UNIQLO H.K.	
	[英国]	売上比	[中国]	売上比	[米国]	売上比	[韓国]	売上比	[香港]	売上比
連結対象期間	06/9～07/8		06/7～07/6		06/9～07/8		06/9～07/8		06/9～07/8	
売上高	38.7	100.0%	21.5	100.0%	34.0	100.0%	43.5	100.0%	19.1	100.0%
営業損益	1.5	3.9%	0.4	2.0%	7.9	23.5%	1.6	3.8%	3.2	17.2%
経常損益	1.1	3.1%	0.4	2.0%	7.9	23.5%	1.6	3.8%	3.3	17.2%

海外ユニクロ事業では、合計で売上高約160億円、
 営業損失は1億円程度の予想をしておりますが、
 英国、中国、韓国事業の黒字化を見込んでおります。

【配当金】

2006年8月期 年間配当金 130円を予定
2007年8月期 年間配当金 140円を予想

	2006年8月期 ¹			2007年8月期(予想) ²		
		中間	期末 (予定)		中間	期末
1株あたり配当金	130円	65円	65円	140円	70円	70円

- 1 2006年8月期末配当金は、2006年11月24日開催予定の当社定時株主総会による承認を前提としています。
2 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

配当金についてですが、2006年8月期配当金は、
期末配当金を65円とし、年間で130円とさせて頂く予定です。

2007年8月期の配当金につきましては、年間140円を予想しております。

最後に、ご参考として、連結ベースの2007年2月中間期業績予想、
ならびに、出退店の一覧表を添付しておりますので、ご参照ください。

以上をもちまして、私からのご説明を終わります。

ありがとうございました。

単位：億円

	2006年2月	2007年8月期	
	中間期実績	中間期予想	前期比
売上高 (売上比)	2,386 100.0%	2,820 100.0%	+ 18.2%
売上総利益 (売上比)	1,124 47.1%	1,365 48.4%	+ 21.4% (+ 1.3p)
販管費 (売上比)	669 28.0%	880 31.2%	+ 31.5% (+ 3.2p)
営業利益 (売上比)	455 19.1%	485 17.2%	+ 6.5% (1.9p)
経常利益 (売上比)	471 19.8%	485 17.2%	+ 2.8% (2.6p)
特別損益 (売上比)	7 0.3%	5 0.2%	(-) (-)
当期純利益 (売上比)	265 11.1%	270 9.6%	+ 1.7% (1.5p)

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	05年8月	2006年8月 通期(実績)			2007年8月 通期(予想)				
	期末	出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	693	109	52	+57	750	91	42	+49	799
国内ユニクロ事業:	679	89	48	+41	720	80	41	+39	759
直営店 ¹	664	84	45	+39	703	79	41	+38	741
大型店	3	4	0	+4	7	20	0	+20	27
標準店等	661	71	45	+26	687	54	41	+13	700
専門店	-	9	0	+9	9	5	0	+5	14
FC	15	5	3	+2	17	1	0	+1	18
海外ユニクロ事業:	14	20	4	+16	30	11	1	+10	40
英国:	6	2	0	+2	8	2	0	+2	10
中国: ²	8	2	3	-1	7	2	0	+2	9
米国:	-	5	1	+4	4	1	1	0	4
韓国:	-	10	0	+10	10	5	0	+5	15
香港:	-	1	0	+1	1	1	0	+1	2
ワンソーン事業	329	5	4	+1	330	21	11	+10	340
コントワー・デ・コトニエ事業	200	47	3	+44	244	64	4	+60	304
プリンセス タム・タム事業	-	10	1	+9	100	28	1	+27	127
キャビン事業	-	-	-	-	201	30	16	+14	215
アスベジ事業	-	0	6	6	7	6	1	+5	12
ナショナルスタンダード事業²	10	1	11	10	0	-	-	-	-
総合計	1,232	172	77	+95	1,619	240	75	+165	1,797

1 ユニクロ直営店のうち、標準店等にはエキナカ・エキチカのユニクロ小型店も含まれます。

また専門店には、ウイメンズインナー専門店「BODY by UNIQLO」、キッズ専門店「ユニクロ キッズ」を含みます。

2 決算期が異なるため、2006年8月期末のユニクロ中国事業及びプティヴィクルの店舗数は6月末、ナショナルスタンダードは5月末となります。